

市民が育てる
東京・未来

としま生活者ネット Report

発行/豊島・生活者ネットワーク 発行責任者/石原淳子 〒171-0044 豊島区千早1-15-17 富士ビル1階
TEL 03-5917-4272 FAX 03-5926-5434 URL: http://toshima.seikatsusha.net/ E-mail:toshima@seikatsusha.net



市民発の

エネルギー政策
の可能性を探る

エネルギーも地産地消で

食だけではなく、これからはエネルギーも

日本全国で広がる 自然エネルギー発電事業

日本の電力は北海道から沖縄まで10地域をそれぞれ独占する電力会社が供給し、なかば強制的に買わされてきたのがほとんどです。そしてその場合、自分が使っている電力の由来は不明です。化石燃料の石炭や石油を燃やす火力発電、自然破壊で建設されたダム水力発電、そして地元住民以外ほとんど注目しないうちに全国に54基(福島第一原子力発電所の1号炉から4号炉は廃炉する事が決まったので、現在は50基)も作られた原子力発電所までできていた電力がもたせません。

そんな中で、自分たちの使う電力を自分たちで作る地域発市民発の発電所があちこちで少しずつ始めています。経済産業省の資源エネルギー庁のHPでは地域や個人での発電事業の例が紹介され、主な再生可能エネルギーとして風力、太陽光、水力、バイオマス、地熱などが利用されています。

生活クラブ生活協同組合の 市民発電事業「夢風」

1997年に生活クラブ生活協同組合・北海道が始めた風力発電もその一つです。2000年にはNPO法人となり、翌年には市民風車建設のために一般社団法人となりました。

2012年には生活クラブ生協首都圏4単協が出資および融

資をして秋田県にかほ市で最大発電量2000KWの風車を建てました。個人向けグリーン電力証書の購入を通じて自然エネルギーの維持拡大などを応援できるしくみで、豊島・生活者ネットワークも50kWh分(4000円+税)を購入しました。

地域の自然環境を最大限有効利用した発電が始まっている

地域での自然エネルギー発電は、昨年視察に行ったドイツをはじめとしたヨーロッパでは古くから行われてきました。日本でも、森林が市の面積の8割以上という岡山県真庭市の製材会社で、製材時に出る木くずを利用、市民の家庭全体で使用する以上の電力を生み出しています。長野県飯田市でも長い日照時間を利用して太陽光発電の会社が立ち上がり、その他バイオマスなどを利用して多くの自然エネルギーを生み出しています。

都市にも作れる市民発電所 — 広い屋根は貴重な資源 —

しかしながら、東京などの大都市にはこのような自然環境はありません。ではどうするか。その疑問に答えてくれるのが多摩市での取り組みです。

多摩市では原発由来のエネルギーから脱却しようと、市民が合併会社多摩電力合同会社(通称たまでん)を作り、恵泉女子大学の南野校舎屋上を20年間借りて、太陽光パネルを設置。昨年7月から最大30kWhの発電を始めました。資金は市民からの債権と信用金庫からの貸付です。

豊島区では何が出来る?

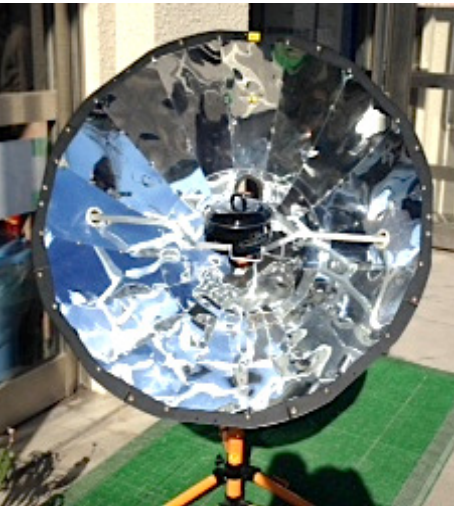
豊島区では、新築の学校や施設の屋上には太陽光パネルを設置しており、現段階では12施設で188kWhまでの発電が可能です。



区には家庭用太陽エネルギー機器や雨水貯水槽の設置に一部助成制度があり、太陽光パネルの設置には1kwあたり4万円(上限16万円)が補助されます。

発電した電力の固定買い取り制度(当初は42円/kw、今年度は38円/kw)がありますが、個人での設置にはまだハードルが高いことは事実です。

設置条件に合う屋根を見つかるのも難しい豊島区ですが、同じ志を持つ人たちが活動を始めています。まずは節電の普及と高効率な機器を導入しつつ、小規模からでも自然エネルギーを増やす活動を進めて行きたいと考えています。(水谷泉)



太陽光を鏡で集めるソーラークッカー。まんなかにも鍋などを乗せませす

さらに同市内にある老人施設の屋根にもパネルを設置して第2号の発電所を稼働する予定です、今年度中に1000kWh

(あと30か所)の発電所を作ることが目標だそうです。

隣接4市にまたがる多摩ニュータウンにはパネルが設置できる5階建てまでの住宅は約4万



http://murakami.seikatsusha.net/
会派名「自治みらい豊島区議団」

●2014年第4回定例会は11月22日～12月6日に開催されました。

●放置自転車対策

1999年池袋駅前の放置自転車数は全国ワースト1、巣鴨駅前もワースト4と大きく報道され、その後10年以上都内ワースト記録を連続。区は鉄道事業者にむけて、「放置自転車税」の導入(施行前に廃止)を含むさまざまな対策をとりました。

●池袋本町小学校

4月に文成小学校と池袋第2小学校が統合、池袋本町小学校小学校跡地に2017年4月に完成予定です。建設中は現在の文成小学校校舎を使います。

●子どもスキップ

子どもスキップ池袋第2は2校の統合により廃止、新校舎完成まで池袋本町児童館の学童クラブと統合します。千早小学校は夏以降工事を行い、来年春に校舎内に子どもスキップを開設予定です。

●池袋第3小学校の改築

工事中の目白小学校完成後、池袋第3小学校の改築工事に入ります。仮校舎は旧真和中学校校舎で新校舎は2016年に完成予定です。

○(仮)西部地域複合施設建設

一時凍結
旧平和小学校跡地の(仮)西



1000台以上駐輪できる池袋駅南自転車駐車場

約1万9000台となり、かつての2倍以上。さらに来年3月大塚駅南側に1000台分整備予定です。

駐輪場整備をさらに進め、一定規模以上の集客施設の新設には自転車駐車場の付置義務を促すという条例改正をしました。

昨年度、撤去した放置自転車約4万台中、引き取られたのは6割。残り4割は販売等や豊島区が提唱し他の自治体や団体、企業の協力で海外へ譲渡しています。実績数は25年間で91カ国72,045台(うち豊島区16,225台)です。

部地域複合施設の建設は、昨年8月と11月の2回の入札が不調。計画は一時凍結になりました。入札不調の原因は、震災復興工事の本格化、国の経済対策、消費税増税前の駆け込み需要など建設工事の増大、建築資材や労務費の高騰、建設労働者の人材確保の困難、公共事業の工事費は将来の建設費の上昇を柔軟に盛り込めないことなどがあげられました。2回目の入札で応札した一社とも約15億円の開きがあり、今後精査の予定です。

一時凍結が長期化するならば現地にプレハブを建てて区民サービスを確保し、売却予定の千早図書館、千早地域文化創造館の耐震工事も検討されます。

○清掃・環境対策調査特別委員会視察報告
サンシャインビル地下の池袋地域に冷暖房を供給する巨大プラント(池袋地域冷暖房株式会社)を視察しました。個別の建物ごとの冷暖房ではなくプラントからのパイプで供給。石油や電気、ガスなどエネルギーの節約、省スペースでもあり、個別

の排熱も減少しヒートアイランド対策にも効果的です。1978年のサンシャインビル完成と同時に供給をスタート。2002～08年ボイラーなど改修し、夜間電力で製氷し、昼間供給する氷蓄熱システムを導入し省エネ性能を増強しました。現在、豊島区役所、豊島公会堂、豊島区民センター等14棟のビル、床面積約57.9万平方メートルに供給。豊島区新庁舎にも供給予定で、豊島清掃工場の排熱利用など検討していくそうです。

の排熱も減少しヒートアイランド対策にも効果的です。1978年のサンシャインビル完成と同時に供給をスタート。2002～08年ボイラーなど改修し、夜間電力で製氷し、昼間供給する氷蓄熱システムを導入し省エネ性能を増強しました。現在、豊島区役所、豊島公会堂、豊島区民センター等14棟のビル、床面積約57.9万平方メートルに供給。豊島区新庁舎にも供給予定で、豊島清掃工場の排熱利用など検討していくそうです。

の排熱も減少しヒートアイランド対策にも効果的です。1978年のサンシャインビル完成と同時に供給をスタート。2002～08年ボイラーなど改修し、夜間電力で製氷し、昼間供給する氷蓄熱システムを導入し省エネ性能を増強しました。現在、豊島区役所、豊島公会堂、豊島区民センター等14棟のビル、床面積約57.9万平方メートルに供給。豊島区新庁舎にも供給予定で、豊島清掃工場の排熱利用など検討していくそうです。

の排熱も減少しヒートアイランド対策にも効果的です。1978年のサンシャインビル完成と同時に供給をスタート。2002～08年ボイラーなど改修し、夜間電力で製氷し、昼間供給する氷蓄熱システムを導入し省エネ性能を増強しました。現在、豊島区役所、豊島公会堂、豊島区民センター等14棟のビル、床面積約57.9万平方メートルに供給。豊島区新庁舎にも供給予定で、豊島清掃工場の排熱利用など検討していくそうです。

の排熱も減少しヒートアイランド対策にも効果的です。1978年のサンシャインビル完成と同時に供給をスタート。2002～08年ボイラーなど改修し、夜間電力で製氷し、昼間供給する氷蓄熱システムを導入し省エネ性能を増強しました。現在、豊島区役所、豊島公会堂、豊島区民センター等14棟のビル、床面積約57.9万平方メートルに供給。豊島区新庁舎にも供給予定で、豊島清掃工場の排熱利用など検討していくそうです。

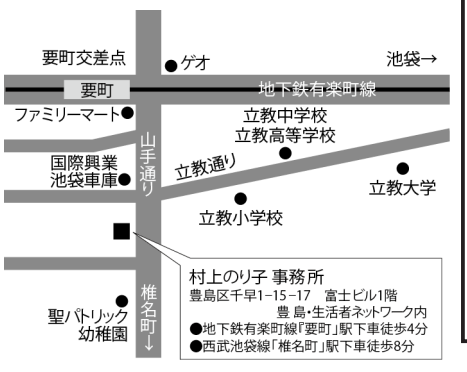
◆◆◆お知らせ◆◆◆

◆豊島・生活者ネットワーク
新春のつどい
日時:1月25日(土)
午前10時～12時
場所:エポック研修室1(3階)

◆村上のり子とおしゃべりタイム
～区政報告会～
日時:3月1日(土)
午前10時半～11時半
場所:村上のり子事務所
(豊島・生活者ネットワーク事務所内)
問合せ:Tel 5917-4272
Fax 5926-5434



◆電気代カット大作戦!
みらい館大明編
一消費税アップの前に知る、身近にできること!
日時:3月1日(土)
午後2時～4時
場所:みらい館大明108教室
主催:としまでエネルギーを考える会
問合せ:http://e-toshima.jimdo.com
03-6907-7217 (FoE Japan 内)



サンシャインビル地下の池袋地域に冷暖房を供給する巨大プラント(池袋地域冷暖房株式会社)を視察しました。個別の建物ごとの冷暖房ではなくプラントからのパイプで供給。石油や電気、ガスなどエネルギーの節約、省スペースでもあり、個別



サンシャイン地下の地域冷暖房施設を視察

の排熱も減少しヒートアイランド対策にも効果的です。1978年のサンシャインビル完成と同時に供給をスタート。2002～08年ボイラーなど改修し、夜間電力で製氷し、昼間供給する氷蓄熱システムを導入し省エネ性能を増強しました。現在、豊島区役所、豊島公会堂、豊島区民センター等14棟のビル、床面積約57.9万平方メートルに供給。豊島区新庁舎にも供給予定で、豊島清掃工場の排熱利用など検討していくそうです。

の排熱も減少しヒートアイランド対策にも効果的です。1978年のサンシャインビル完成と同時に供給をスタート。2002～08年ボイラーなど改修し、夜間電力で製氷し、昼間供給する氷蓄熱システムを導入し省エネ性能を増強しました。現在、豊島区役所、豊島公会堂、豊島区民センター等14棟のビル、床面積約57.9万平方メートルに供給。豊島区新庁舎にも供給予定で、豊島清掃工場の排熱利用など検討していくそうです。

の排熱も減少しヒートアイランド対策にも効果的です。1978年のサンシャインビル完成と同時に供給をスタート。2002～08年ボイラーなど改修し、夜間電力で製氷し、昼間供給する氷蓄熱システムを導入し省エネ性能を増強しました。現在、豊島区役所、豊島公会堂、豊島区民センター等14棟のビル、床面積約57.9万平方メートルに供給。豊島区新庁舎にも供給予定で、豊島清掃工場の排熱利用など検討していくそうです。

の排熱も減少しヒートアイランド対策にも効果的です。1978年のサンシャインビル完成と同時に供給をスタート。2002～08年ボイラーなど改修し、夜間電力で製氷し、昼間供給する氷蓄熱システムを導入し省エネ性能を増強しました。現在、豊島区役所、豊島公会堂、豊島区民センター等14棟のビル、床面積約57.9万平方メートルに供給。豊島区新庁舎にも供給予定で、豊島清掃工場の排熱利用など検討していくそうです。

の排熱も減少しヒートアイランド対策にも効果的です。1978年のサンシャインビル完成と同時に供給をスタート。2002～08年ボイラーなど改修し、夜間電力で製氷し、昼間供給する氷蓄熱システムを導入し省エネ性能を増強しました。現在、豊島区役所、豊島公会堂、豊島区民センター等14棟のビル、床面積約57.9万平方メートルに供給。豊島区新庁舎にも供給予定で、豊島清掃工場の排熱利用など検討していくそうです。

の排熱も減少しヒートアイランド対策にも効果的です。1978年のサンシャインビル完成と同時に供給をスタート。2002～08年ボイラーなど改修し、夜間電力で製氷し、昼間供給する氷蓄熱システムを導入し省エネ性能を増強しました。現在、豊島区役所、豊島公会堂、豊島区民センター等14棟のビル、床面積約57.9万平方メートルに供給。豊島区新庁舎にも供給予定で、豊島清掃工場の排熱利用など検討していくそうです。

あたららしい働き方
ワーカイズ

経済成長最優先、高効率化の社会で、格差や貧困、孤立化の問題の解決は、未だ見えません。そんな中、働くことに疲れ果て、なかなか生き甲斐を持ってない人が増えてきました。自分も納得する働き方をしたい!地域の人たちとつながりのある働き方をしたい!そういう思いを実現するために1980年代にワーカイズ運動が生れました。ワーカイズとは、働きたい人たちが資本と労働を持ち寄り、協同で経営していく協同組合の一形態です。全員が経営者であり、全員が労働者という「協同労働」、雇われないう働き方です。現在、ワーカイズコープやワーカイズコレクティブとして、全国で約5万人が働いています。昨年12月13日、14日に豊島区民センターで行った映画

「ワーカイズ」は、墨田区を舞台にした、地域とつながって働いているワーカイズのドキュメンタリー映画でした。区長を始め、両日で約310名と多くの方々に来場していただき、地域で人と人がつながる暖かさを感じると思いをいただきました。協同労働という働き方は、すでにイタリア、イギリスなどヨーロッパや韓国で法整備され、さまざまな事業が展開されています。日本でも、長年、法制化を求める活動が展開され、豊島区議会では2008年に「協同労働の協同組合法の法制化を求める意見書」を国会宛に提出しました。

働く場を協同の力で、自ら生み出していくワーカイズという働き方は、人と人がつながる力を持って、地域社会をつくっていく。そんな社会を実現していきませんか?